



# 島田市の教育

「平成27年度全国学力・学習状況調査」からみえる島田市の子供

## 1 調査の概要

### ◇目的

- ・児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、授業改善を図る。
- ・本調査の結果を子供への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

◇実施日 平成27年4月21日（火）

◇実施対象 島田市内全ての小学校6年生と中学校3年生

### ◇調査内容

- ・教科調査（国語、算数・数学、理科）
- ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙



## 2 調査結果の概要

### (1) 教科に関する調査結果

＜調査結果(平均正答率)を領域別にまとめました。＞

### ＜平均正答率＞

全設問における正答数の割合を算出した値（個人の正答率）を足し合わせ、子供の数で割った値



### ＜記号の見方＞ 全国平均正答率と比べて

◎：+3ポイント以上

○：～+3ポイントまで

□：同じ

△：～-3ポイントまで

●：-3ポイント以下

## 国語

学校種	問題別	全体	領域別			
			話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項
小学校	A問題	○	○	○	○	○
	B問題	○		○	○	
中学校	A問題	△	△	△	○	△
	B問題	○	△	○	○	

## 小学校国語 ☆成果 ★課題

- ☆「基礎的な漢字の読み書きができる」「文の主語と述語の関係を理解している」など、国語に関する基礎的な知識を身に付けています。
- ☆目的に合わせて必要な情報を文章から取り出したり、文章の書き方の工夫について理解したりするなど、適切に文章を読むことができます。
- ★国語学習で身に付けた「読む能力」を、「読書」や「新聞を読む」などの、日常生活での読む活動に生かすことに課題があります。
- ★目的に合わせて収集した情報を整理し、構成を考えながら文章に書き表すことに課題があります。



## 中学校国語 ☆成果 ★課題

- ☆登場人物の心情・言動から内容を理解する問題は概ねよくできています。
- ☆漢字を読むことや目的に応じて要旨を捉え、表現の特徴を捉えることについてはよくできています。
- ★和語、敬語、慣用句等の語句の知識が不足しているため、文脈の中で適切に使えていないという課題があります。
- ★複数の資料から必要な情報を取り出し、それらを関連づけて、条件に従って文章を書くことに課題があります。



## 算数・数学

学校種	問題別	全体	領域別			
			数と計算	量と測定	図形	数量関係
小学校	A問題	○	○	○	◎	△
	B問題	△	△	△	○	●
		全体	数と式	図形	関数	資料の活用
中学校	A問題	△	△	○	△	△
	B問題	△	△	△	□	△

## 小学校算数 ☆成果 ★課題



- ☆「数と計算」や「量と測定」などの基礎的な技能や知識・理解がよく身に付いています。
- ☆「図形」（角の大きさ、展開図など）においても、基礎的・基本的力がよく身に付いています。
- ★筋道を立てて考えたり、根拠をもって説明したりする力をさらに伸ばしていく必要があります。

## 中学校数学 ☆成果 ★課題

- ☆三角形の合同条件や関数のグラフの読み取り等についての知識及び技能が身に付いています。
- ☆家で宿題や授業の復習をしている生徒の割合は、全国比を上回っています。
- ★「関数や確率の意味」「一般化して説明することの必要性」といった数学の本質的な知識・理解の定着にやや課題があります。
- ★構想を立てたり、根拠を明確にしたりして説明する力を身に付ける必要があります。

## 理科



学校種	全 体	領域別			
		物 質	エネルギー	生 命	地 球
小学校	○	○	○	△	○
	全 体	物理的	化学的	生物的	地学的
中学校	○	○	△	○	△



## 小学校理科 ☆成果 ★課題

- ☆全体的に全国を上回る結果となっています。また、「理科の授業内容がよく分かる」と回答した児童が多く、理科授業が充実していることがわかります。
- ☆グラフから内容を読み取ったり、他のデータと比較したりする力が身に付いています。
- ★顕微鏡の名称や操作方法等、基本的な器具の扱いについての理解にやや課題があります。
- ★グラフを「読み取る力」は身に付いていますが、グラフを「操作する力」（数値を必要に応じて算出する等）に課題があります。



## 中学校理科 ☆成果 ★課題

- ☆全体的に全国を上回る結果となっています。また、「理科の勉強が好き」「理科の勉強は大切」と思う生徒の割合も高い結果となっています。
- ☆体験的な活動に積極的に取り組んでいるため、身近な自然事象を科学的に捉える力が身に付いています。
- ★自然事象に関わる用語を科学的に捉えることに課題があります。
- ★自分の考えを整理して、科学的に表現することに課題があります。

## (2) 児童・生徒質問紙に関する調査結果からわかること



(中学校) 「国語が好き」  
(小学校) 「算数が好き」  
(小学校) 「算数の授業がわかる」

自分には  
よいところがある

人の役に立つ  
人間になりたい

難しいことでも、失敗を  
恐れないで挑戦する

今住んでいる地域の  
行事に参加している

よい傾向

力を入れて  
いきたい

(小学校) 「国語が好き」  
(中学校) 「数学が好き」

学校が休みの日の  
家庭学習

地域や社会をよくするため  
に何をすべきかを考える

新聞を読む

## (3) 学校質問紙に関する調査結果からわかること



今まで以上に次の3点を意識して、子供が学びを  
実感できるような授業を目指します。

- ①目標（めあて・ねらい）をはっきり示す
- ②明確な視点をもった話し合い活動を取り入れる
- ③授業の最後に振り返る時間を設定する

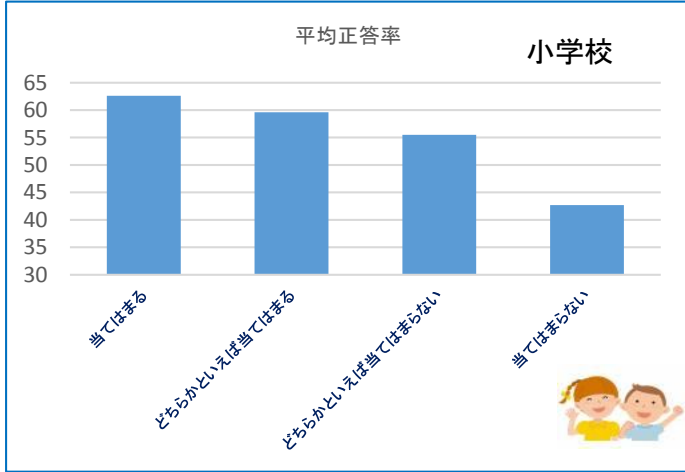
学校教育活動全体の中で、子供たちに将来就き  
たい仕事や夢について考えさせる指導を充実さ  
せていきます。



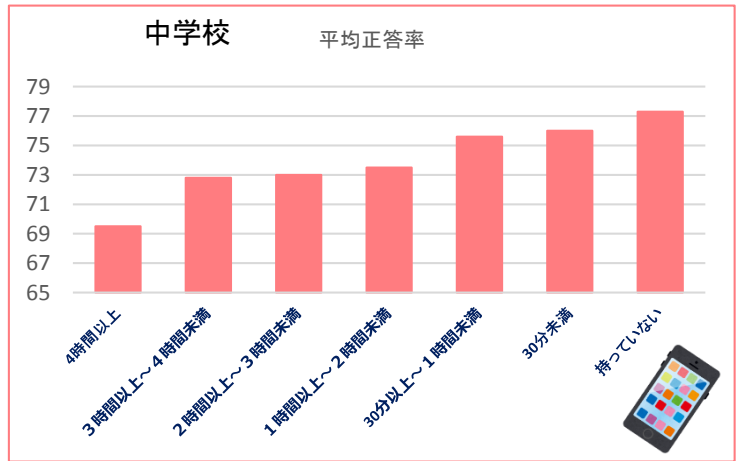
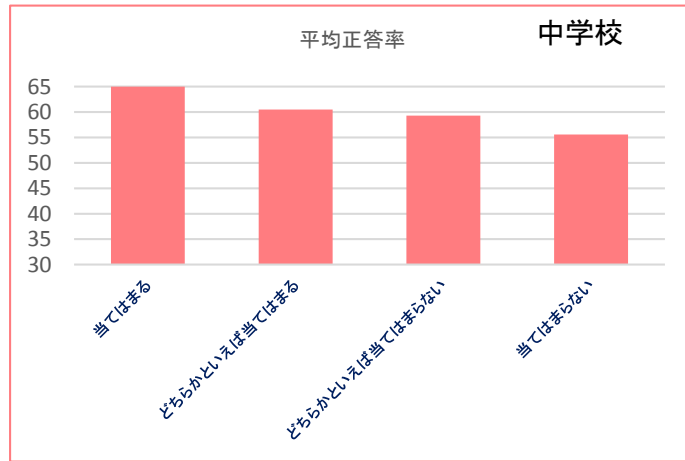
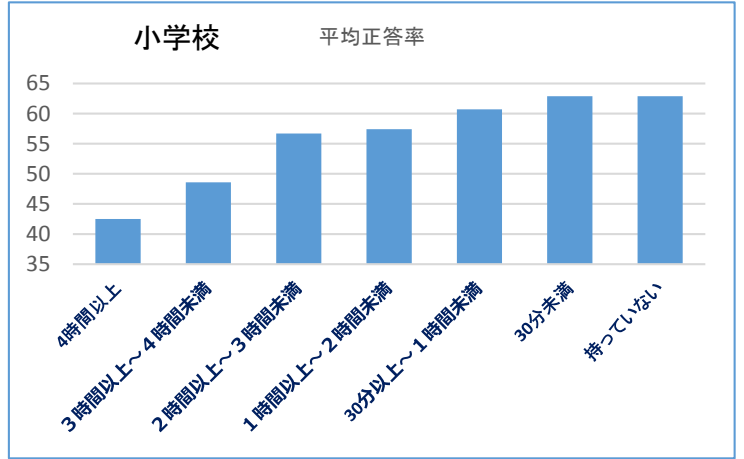
### 3 保護者のみなさまへ

ものごとを最後までやり遂げてうれしかった体験がある子供や、平日に携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを長時間において使用していない子供たちの方が、平均正答率が高い傾向が見られます。

「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」平均正答率との関係



「普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしていますか」と平均正答率との関係



- ◇ 家庭で学校の様子を聞いて、親子のコミュニケーションを増やしていきましょう。その中で、学校ではどんな活動に取り組んでいるのかを把握しましょう。
- ◇ ものごとを最後までやり抜く体験ができるように、子供の活動を見守りながら、励ましたり認めたりしていきましょう。
- ◇ 携帯電話やスマートフォン、インターネットの使い方やルールを家庭内で設定し、長時間の使用にならないように注意しましょう。
- ◇ 「ほめて伸ばす」「認めて伸ばす」ことを心掛けていきましょう。

島田市学力向上委員会では、学力向上のために、分析結果及びいくつかの取り組みを各小中学校に示しました。各小中学校からも「学力向上へ向けた学校の取り組み」が具体的に示されています。御協力をよろしくお願いいたします。

